

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大阪府立富田林高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒584-0035

大阪府富田林市谷川町4番30号

E-mail : tonkou@tondabayashi.osaka-c.ed.jp

Website : http://www.osaka-c.ed.jp/tondabayashi/

児童生徒数：男子 529名 女子 553名 合計 1082名

児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

1. 一年次「総合的な学習の時間」における活動  
生徒たちは毎週一回の「総合的な学習の時間」のなかで、大学訪問や裁判所見学、サイエンスキャンプなどの取り組みに参加した。それらの活動を通して得た関心をもとに、それぞれがテーマ設定を行い、調査研究をし、その成果を3000字のレポートにまとめて提出した。さらに研究のまとめをポスターセッションの形で学年の前で発表した。
2. 大阪ユネスコスクールネットワークとしての活動  
2013年11月2-4日に中国・韓国・ラオス・タイ・インドネシア・フィリピン・ベトナム・日本の8カ国の生徒を集めて「UNESCO アジア・太平洋地域 ESD 高校生フォーラム」が開催された。本校生も運営スタッフとして参加、2013年5月から毎月大阪府内及び岡山の高校生とともに準備を行い、全国の高校生との交流を行った。
3. ドイツのザールラントの高校生との交流活動  
2013年7月16~31日、ドイツのザールラントから高校生が来日。生徒会とユネスコサークルが中心となって、部活動体験や、京都案内、調理体験などを企画し、ホームステイなどを通して交流活動を行った。
4. ユネスコサークルの活動
  - ①2013年11月2~4日 「UNESCO アジア・太平洋地域 ESD 高校生フォーラム」に参加。5月から準備を進め、8カ国の高校生によるフォーラムを行った。
  - ②2013年11月17日、堺カトリック教会で行われた複数の高校の生徒によるボランティア活動団体「BE HAPPY」に参加。フィリピンの台風被害の支援として、バザーを行い収益金を寄付した。
  - ③学園祭での「アフリカケニアのマゴソスクール支援プロジェクト」  
ケニアでスラムの子供たちが通える学校づくりを進めている早川千晶さんのお話を聞き、その活動を支援するために学園祭では展示と物品販売を行って、その売り上げをマゴソスクールに寄付した。
5. グローバルスタディツアー及びドイツからの留学生受け入れ、ドイツ等への留学生の派遣等  
2014年3月にドイツ・フランスへのスタディツアーを実施(予定)。ドイツのザールラント大学日本語学校との交流及び、フランスのヴァルドワーズ県との交流活動を中心に、環境や社会制度について異文化を学び合う機会を拡充する。また、ユネスコ本部を訪問しそのスタッフとESDについて高校生が果たすべき役割について議論する。
6. 家庭科の時間における地域の保育所との交流活動
7. 生徒会を中心とした石川及び富田林地域の清掃活動や岩手県立宮古工業高校への募金活動
8. バトン部・ダンス部・吹奏楽などの地域の保育園、小学校、高齢者福祉施設などとの交流、及び地域の催しへ参加
9. 2013年8月に地域の小学生を二泊三日で校内施設に受け入れての交流活動

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他(オーストラリアスタディツアー・グローバルスタディツアー)